

令和5年8月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和5年8月30日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第2委員会室		
出席者	教育長	齋藤	信哉
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久
	教育委員	西山	康巳
事務局出席職員	教育部長	八木田	満彦
	教育部次長兼教育総務課長	鈴木	伸尚
	教育部次長	熊谷	誠二
	博物館長	小保内	裕之
	学校教育課長	寺井	健司
	教育指導課長	梅内	太郎
	社会教育課長	高橋	宣子
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	河村	雅庸
	こども支援センター所長	田端	修文
	図書館副館長	磯嶋	奈都子

開 会

(齋藤教育長)

定刻となりましたので、令和5年8月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(齋藤教育長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第30号「八戸市指定管理者選定委員会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第30号 八戸市指定管理者選定委員会委員の委嘱について

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第30号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第30号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに「JAMSTECのSTEAM事業に係る教材等について」事務局からの説明をお願いします。

【JAMSTECのSTEAM事業に係る教材等について】

(梅内教育指導課長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(福井委員)

非常に良い内容だと思っております。実はウェブサイトを見てきまして、資料に書かれているとおり教員

の指導なども含まれておりますので、教材とすれば非常に良い教材であり、これから自然のことなどいろいろと考えなければいけない子どもたちにとって良い勉強の場になるかと思えます。特に外部の方が協力しているということで、普段触れていないような興味深い内容もあって、まさに八戸でそういうことができることはすごいことだと思っておりました。

一つ質問ですけれども、学校以外の教材をいろいろ使っている学校もたくさんあると聞いておりますが、実際に各学校で使うとなればどの教科の授業に盛り込まれるのでしょうか。

(梅内教育指導課長)

福井委員の御質問にお答え申し上げます。

まず対象ですけれども、小学校5年生及び6年生を対象としております。教科ですが、社会科や理科、総合的な学習の時間での活用を想定しています。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御意見、御質問等ありますでしょうか。

(小瀬川委員)

まずは、この教材の完成のために御尽力くださった吹上小学校の先生をはじめ、関係されたすべての方に感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

私もこのイノベーション・プラットフォームのウェブサイトを拝見しましたがけれども、他の教材は中学校や高校と共に作っているところが多く、資料に記載のとおり小学校における本当に珍しい事例だということが分かりました。また使われている画像も色彩が豊かで非常に臨場感があり、感動いたしました。

8月上旬に「我が国の海洋研究を推進する全国市議会議員連盟総会・研修会」において取組が発表されたと新聞の一面で取り上げられておりましたけれども、参加された方に肌で感じたことや反響等をお伺いしたいと思います。

もう1点伺いたいのですが、今後、海洋ごみや海底火山、地震等について教材を作成予定と伺っておりましたけれども、全て小学校を対象とした教材として作られていくのかということをお伺いできればと思います。

(鈴木次長兼教育総務課長)

質問の前半の部分、8月3日の件についてお知らせしたいと思えます。まず事務局内の参加者は、私と高橋社会教育課長、それからJAMS TECとの共同発表ということで教育指導課の日向端副参事の3名が参加しました。

「我が国の海洋研究を推進する全国市議会議員連盟」に参加している市が八戸市を含めて8つありまして、八戸市の他に横浜市、横須賀市、神戸市、静岡市、むつ市、函館市、沖縄県名護市といったいずれもJAMS TECと深く関わりがある市ということで、議員連盟を結成して持ち回りで総会を開いており、今回は静岡市で行われました。

当日は議員連盟の総会後の研修会に参加いたしました。研修会には160名ほどの市議会議員に加えて静

岡県の県議会議員が参加しておられました。

中身としてははじめに基調講演がありまして、その後各市の活動報告をするのですが、主に開催地である静岡市の取組が多い中、その内2件が八戸市関連の報告であり、STEAM教育の報告とマリエント「ちきゅう」たんけんクラブの報告でした。どちらの発表も他の市の市議会議員は大変熱心に聞いていらっしゃるようで、私個人的な印象ですが、発表後の拍手も他の報告よりも非常に大きくて、関心が高いという印象を受けました。

その後、懇親会があり、挨拶で静岡県選出の元法務大臣の上川陽子さんがいらしていて、ずっと研修会も聞いてらっしゃったんですけども、八戸市とJAMSTECの取組それからマリエントの取組をわざわざ挨拶の中で取り上げていただいて、大変評価していただいたという言葉が非常に印象的でした。その後も各市の市議会議員も大変興味津々で、日向端副参事のところに集まって話を聞いていたほか、吹上小学校の授業風景の動画を送ってほしいという要望もあり非常に関心が高かったと思います。

八戸市の取組が八戸モデルとして高く評価され、八戸市はさらに強い印象を各市に与え、個人的にはさらに一目も二目も置かれたのではないかと感じました。今後そういう市からの視察等も増えるのではないかと感じており、同様の取組をしようとする自治体が八戸市を目標にして活動をするのではないかと感じました。

(梅内教育指導課長)

2点目の質問ですが、今回は小学生を対象に作成した教材ですので、今後また新たに教材を作成する時に中学生向けの教材を作っていきたいと考えております。

(小瀬川委員)

ありがとうございました。大変その場の様子がよくわかりました。そして関心が非常に高く、反響があったこともよくわかりました。

これから八戸市の教材が日本、もしかしたら世界の各方面で活用されるのだろうという印象を受けました。ウェブサイトを見れば、他の市町村の取組や教材なども見ることができるので、相互に活用していくことも一つではないかと思いました。また、教材を学んだ子どもたち、特に海の近くで育っている子どもたちが中学校に上がったときに、課題解決に向けた人材育成につながるのであれば、八戸市教育委員会独自の特色ある学びとして、中学校用の教材作りを考えていくということも一つではないかと思いました。

先ほど福井委員の御質問に対して、社会・理科・総合の時間で活用すると回答がありましたけれども、あくまで例えばですけども、学習発表会などの場面でも活用いただいて、家族や地域の方にも知っていただく機会があれば良いと個人的に思いました。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御意見、御質問等ありますでしょうか。

(油川委員)

感想を述べさせていただきたいと思います。

最先端の研究を進められている J A M S T E C と教育委員会が共同で開発すること自体が素晴らしいと思うと同時に、教育教材という形に残されたことを大変誇りに思いました。吹上小学校の皆様そして教育委員会の皆様の御努力は大変素晴らしいと思いました。そしてまた 8 月 4 日にデーリー東北に掲載してもらったということで、広く多くの方に周知を図られたということも大変うれしく思っております。

これらの活動は、SDG s の目標 14「海の豊かさを守ろう」の目標達成に幅広く貢献できるのではないかと大いに期待をしているところです。授業において児童の課題発見から課題解決能力の育成につながられるよう、今後の学校教育活動にいかしていただけたらと思います。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御意見、御質問等ありますでしょうか。

〔質疑なし〕

次に「『青少年のための科学の祭典 2023』八戸大会の開催報告について」事務局からの説明をお願いします。

【『青少年のための科学の祭典 2023』八戸大会の開催報告について】

(河村総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(西山委員)

参加させていただきまして大変ありがとうございました。これまで長く回数を重ねて実施されており、多くの市民・子どもたちに科学の楽しさを伝えていく貴重な場面だと思っております。コロナ禍が落ち着き今回は通常どおりの開催ということで来場者数も多数増えてきたこと大変ありがたくうれしいことだと思います。ボランティアの生徒も市内の中学校・高等学校からたくさん参加していただき非常に力強いと感じました。

2 点お伺いしたいと思います。1 点目は開会式を玄関前の広場で行っており、いつも暑い日だったり天気が悪い日だったりボランティアの子どもたちが晒されて大変な思いをしている状況なので、開会式の中身や場所を検討できればもっと子どもたちが参加できるのではないかと思うので検討お願いしたいと思います。

2 点目は、児童科学館の場所について交通が不便ということで以前は市街地からシャトルバスを出していたがそういったことはまた実施できるでしょうか。

(河村総合教育センター所長)

西山委員の御質問にお答え申し上げます。

開会式につきましては、確かにお話のとおり場所の問題もありますし、今年度も晴天に晒されて大変厳しい条件でございました。9月下旬に4回目の実行委員会を開く予定でございますので、その中で今いただいた御意見をもとに、祭典全体の開催方法とも合わせながら検討してまいりたいと思います、というのがまず1点目です。

それから2点目のシャトルバスについて、実は今年度もシャトルバスの運行をしておりましたが、今の西山委員のお話を聞きまして、周知が足りなかったと感じていたところでございます。4年ぶりということで、今年度少し離れた場所からシャトルバスを往復してもらいましたけれども、そちらのほうもしっかり活用されますよう改めて周知方法についても検討してまいりたいと思います。

(西山委員)

ありがとうございました。交通手段についてはこちらの認識不足でした。この祭典は内容も非常にすばらしい優れたものが多く、たくさん子どもたちに体験してほしいと思うような事業だと考えていますので、今後さらにいろいろな状況を検討しながら、充実・発展させていくよう進めていただければと思います。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御意見、御質問等ありますでしょうか。

(小瀬川委員)

私からも一言感想申し上げます。

大変暑い中での開催でしたけれども、皆様方が丁寧に御対応してくださっている姿を目の当たりにしまして、本当に頭の下がる思いでございました。保護者の方々も子どもたちと一緒にたくさん参加してくださっていて、一緒に科学を楽しみ学ぶ時間を過ごしてくださっているということが、本当にこの祭典の大きな特徴であると思いました。

また近くの児童館の学童教室の子どもたちも大勢参加してくれていて、本当に醍醐味と言いますか、たくさん子どもたちが来てくれてこそこの祭典だと思いました。中学生、高校生も先ほどのお話にありましたけれども、一緒に実験をしている姿を見ることができて、本当にコロナ禍が落ち着きこれまでのような活気が戻ってきたと実感していたところです。

先ほどの西山委員のお話とも重複するのですが、やはり体育館等が非常に暑いという印象を受けたほか、シャトルバスが駐車場までの往復を1時間にしているということをホームページで拝見しまして、例えばほかの会場との併催や時期の検討など、今度の実行委員会では、そういう点を検討していただければと思います。

(齋藤教育長)

私からも少し感想を述べさせていただきます。

他の事業もそうですけれども、今回の科学の祭典は、コロナ過によってブランクが何年かあるため、当時

のノウハウがなかなか継承されていないことがやはり大きな課題ではあったのですが、この科学の祭典を見る限りでは、ボランティアの方々の様々なノウハウがしっかり引き継がれているということにすごく感じました。

中高大そして企業の方々が大変懇切丁寧に対応していただいたと思います。一つ紹介しますと、ドラム缶つぶしの後継者もしっかりと育っていることにすごく感心しました。これからも科学の祭典は、子どもたちにとってすごく良い学習の場であり、楽しみながら学習する機会と考えればすごく重要な役割を果たしていると思っていましたので、来年以降もまたどうぞよろしくお願いいたします。

そのほか、委員の皆さんから御意見、御質問等ありますでしょうか。

〔質疑なし〕

次に「本と雑誌のリサイクルフェア」の開催について」事務局からの説明をお願いします。

【「本と雑誌のリサイクルフェア」の開催について】

(磯嶋図書館副館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ありますでしょうか。

(油川委員)

リサイクルフェアが開催されることはとても良い取組だと思いますけれども、例年リサイクル用に用意した本や雑誌はこのフェアでなくなってしまうものなのか、残ってしまうものもあるのかを伺いたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(磯嶋図書館副館長)

実は、半分ぐらいの本や雑誌が残り、最終的には廃棄処分されております。雑誌は2年間の保存ですので、週刊誌など2年前のものというのはなかなか持ち帰りいただけないことが理由として挙げられます。料理関係やNHKのテキストは大変人気があるのですが、図書館からリサイクルに提供した本が大変古く少し汚れがあるということもございますので、そういったものが残る場合もあります。

皆さんから回収した本も文庫本などは大変人気があるのですが、すべてがなくなるわけではなく半分ぐらいが最終的には残っている状況です。図書館本館が先にリサイクルフェアを開催するのですが、その後に南郷図書館でも開催することもございまして、その際には図書館本館で残った本を南郷図書館へ持って行って、さらにリサイクルをするということも行っております。

(油川委員)

ありがとうございます。

そこで少し提案なのですが、この日時に、もしくはこの場所に足を運ぶことができない人のために、例えば移動図書館車に人気がある本の中からまだ残っている本を積み、欲しい方に提供することで、リサイク

ル本の活用につながるとともに、移動が難しい方にとっても便利になると思うのですが、御検討お願いします。

(磯嶋図書館副館長)

移動図書館は大変狭いものですから、中に詰め込むスペース等の検討が必要になるかと思うのですが、検討させていただきます。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御意見、御質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(小瀬川委員)

学校の冷房機の設置に関して御礼をまず申し上げたいと思います。

3年前から設置の工事を進め、今年で一区切りとのことで、子どもたちの学びの環境を整えるために予算を確保し進めていただいております、これからスタートであれば本当に大変だったと思う今年の暑さです。いろいろなところで観測史上最高や世界平均気温が史上最も暑いということを目にしながら、そういう中で早く進めていただけていたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

しかしながら、先ほど教育長のお話でもありましたけれども、冷房機を設置したからと言って確実に熱中症を防げるわけではないというのが現状だと思います。山形の中学生在が亡くなった件に関しても、部活動の時間短縮や、休憩時間の確保をした中でも、やはりあのような事故が起きてしまうというところには、保護者の方も不安の念を抱くことが多いかと思います。夏季休業期間の変更や午後の授業を休講するなど、いろいろな対策を講じてくださっているところに本当に安心しているというのが本音でございます。

ただし、この暑さを忘れないうちに次年度に向けて何か課題はないかを改めて考えてみるのも一つではないかと思います。特別教室、体育館、配膳室等まだまだ冷房機がないところもありますし、冷房機が既に設置されている場所に関してはそれ以降何か課題等はないのか、そのほか登下校中や屋外での行事での課題等、現場の先生方や保護者の方の声に耳を傾けて、来年に向けて何か対策を講じることができる部分の検討をしていただきたいと思います。

コロナ対策もまだまだ継続しているところだと思いますけれども、そこに暑さ対策というものも加わって、先生方も疲労等の蓄積があるかと思います。先生方のケアも含めてではございますけれども、必要に応じて学校現場に協力できるような情報提供や助言をしていかなければいけないと思ったこの暑さでした。

(寺井学校教育課長)

熱中症対策につきまして、学校長との情報交換を実施しており、まず今年度5月に、小学校の運動会が始まるシーズンに向けて教育委員会から通知という形で熱中症対策をお願いしておりました。合わせて7月に、夏休みに入るに当たって、熱中症に関連した事故等について情報提供をしております。

その中で、学校にて工夫されている事例を紹介しますと、特別教室など現在エアコンがついていない場所につきましては、年間計画を移動させて暑い時期にはエアコンが設置されている教室で可能な授業を行い、涼しくなってから理科室など特別教室で授業を行うという、教科の移動をしながら学習を進めています。そのほか、校舎の階によって気温が異なり、1階と2階はそうでもないものの4階が暑い学校であれば、4階の教室にいる生徒たちをそのまま1階の空いている教室に引っ越しをして授業を実施するという学校もあります。

また、子どもたちが自身で対策できるものということで、保護者に対して水筒の持参についてこれまでも持ってきてくださいと案内していたのですが、水筒の中身につきましてもスポーツドリンクなどを薄めて持参して良いということを教育委員会から学校へお知らせしております。これまで糖分の摂取を考えて水かお茶に限定していたのですが、やはり保護者から心配の声も聞いていたので、医師に確認し薄める形であれば糖分はそれほど心配しなくても良いだろうと裏付けをいただいた上で、各学校に情報提供をしながら対策を講じているところです。

(齋藤教育長)

私からも少し補足しますと、昨日と今朝、学校の登校の様子を見ていましたら、中学校は今制服で登校というよりも、Tシャツ短パンで登校している学校がほとんどでありました。そういうふうに各学校ではとにかく考えられることをいろいろ模索しながらやっている。あわせて我々行政側も先ほど冒頭の挨拶の中でお話しましたがけれども、やはり夏休みの時期、期間も含めて検討する必要があるのではないかと考えております。例えば都市部と同じように9月からの2学期スタートになると、過ごしやすいのではないかと個人は考えております。

それに伴って何が課題なのか、管理規則等も改訂しなければならないので、様々な事情を勘案した上で実現できるものであれば実現していきたい、そういったことも今検討しているところでした。この熱中症によって命を落とすということも十分あり得るので、これからも危機感を持って対応していきたいと考えています。

そのほか、委員の皆さんから御質問等ありますでしょうか。

[なし]

閉 会

これをもちまして令和5年8月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時20分閉会)